



園長便り



2021年8月31日発行

セブンスデー・アドベンチスト石川教会附属 石川三育保育園

夏の厳しい暑さが続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年の夏もコロナウイルスの影響が大きく、ステイホームの期間を過ごされたことと思います。しかし、その中でもテレビをつけると多くのスポーツ大会を見ることができました。1年延期で開催した東京オリンピックは、ニュースを賑わせ盛り上がりました。東京パラリンピックは今も行っています。また、去年は中止となった甲子園ですが、今年は開催することができました。たくさんの選手たちの活躍や頑張る姿を見ることができ、元気をもらいました。

暑い夏が過ぎるとスポーツの秋がやってきます。私はスポーツは見るよりやる派です。もしかしたら子どもたちもテレビでたくさんのスポーツを見て、あれやりたい！と見よう見まねで体を動かしたりしているかもしれません。

今月、石川三育保育園では運動会を計画しています。ただ今回の運動会は、コロナウイルスの影響を考慮し、無観客での開催としたいと思います。無観客でも子どもたちの頑張る様子はライブ配信いたしますので、ぜひご覧いただけたらと思います。園だよりの中に詳しい案内がありますので、詳細をご確認ください。今後コロナの感染状況によっては、予定が変更することがあるかもしれませんが、ご協力よろしくお願いたします。

「なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。」
フィリピ3：13、14

パウロという伝道者が書いた言葉です。パウロは町から町へと旅をしてイエス様の教えを伝える働きをしていました。その旅の途中、パウロはギリシャの町で古代オリンピックが開催されているのを見ます。古代オリンピックは今のオリンピックよりも参加者も種目数も少ない小さなものでした。しかし、そこでも一生懸命にゴールを目指して走る競技者たちがいたのです。

パウロはその競技者と私たちの歩みを重ねます。パウロはマラソン選手がゴールを目指して一生懸命に走るように、私たちもイエス様という目標を目指して走りましようと呼びかけます。運動会でもゴールを目指し一生懸命走る子どもたちの姿を見ることができると思います。様々な困難がある中、私たちもイエス様の助けを得ながら、イエス様を目指して、それぞれのコースを走り抜きたいと思えます。今月もよろしくお願いたします。

石川三育保育園 園長 松下晃大



特別号

『いっしょに、おいのりを』

下級生用



わたしたちをいつもまもり、あいしてくださる、かみさま、
わたしたちのおねがいをきいて、ひつようなものをくださり、ありがとうございます。

しんがたウィルスのびょうきで、くるしんでいるひとたちを、たすけてください。
いちにちもはやく、げんきになって、もとどおりになるようにしてください。

かそくやおともだちのなかで、こころのちからをなくしているひとを、
げんきにしてください。

このびょうきをなおすために、はたらいているひとたちを、たすけてください。
びょうきがひろがらないように、はたらいているひとたちを、まもってください。

このびょうきのこと、くるしんでいるひと、
かなしんでいるひとたちを、おもいだし、
たすけあうところを、もつことができますように。



わたしたちのあいする、イエスさまのおなまえをとおして、おいのりします。

アーメン。

